

網走川河畔林育成講座

～河畔林を創りませんか～ 2012

を開催しました。



開催概要

平成24年11月17日（土）津別町で、「網走川河畔林育成講座」を開催しました。当講座は、河畔林の早期回復や、河畔林を通して河川環境をより良く知っていただくため、平成18年より住民参加型の植樹会として実施しており、今年で7回目を迎えました。

今年は、約40名の方々が参加いただきました。

室内講座は、津別町民会館（生活改善センター）で行い、まず主催者である北見河川事務所より、河畔林育成講座のきっかけとなった、網走川上流の河道掘削工事の経緯と必要性について講義を行いました。



芽鱗痕とは？



生長量の調査をしました

今回の植樹に使用する苗の一部は過去に植樹した大人の木から、参加者自らノコギリや剪定ハサミを使って採取したものを苗として、循環的な植樹としました。



生長した樹木から苗を採取し植樹を行いました

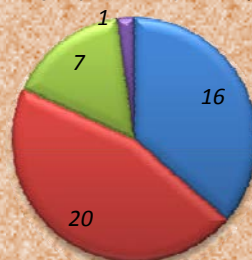
生長観察のときは小雨がちらついていたものの、幸い植樹を行うときにはすっかり雨もやんでいました。みなさん、寒い中大変お疲れ様でした。来年の開催もご期待下さい！



みなさん、お疲れ様でした！！

アンケートから

野外体験では何が一番良かったですか？



- 植樹体験
- 生長の調査
- 埋枝の採取
- その他

間引き体験や詳細な調査の要望や家庭で役立つ知識を学びたい等の、意欲的な声も寄せられました。



開催当時から参加いただいている環境林づくり研究所長の斎藤新一郎先生からは、「河畔林の働きと創り方」についてご講義いただき、これまでの先生の研究から得られた植樹に関するノウハウをご教授いただきました。



植樹会は、網走川の達美橋上流右岸に場所を移して行われました。最初に、過去に植樹を行った樹木の生長調査を行いました。生長の量は樹木に残されている「芽鱗痕」を見つけることで、1年間の生長量がわかるそうです。生長は特にヤナギやドロノキの成長が早く、成人男性の背丈を優に超えており、参加した方々は、その成長の様子に驚いていました。